

## 平成24年度北海道科学技術賞受賞者功績概要

公立ほこだて未来大学 マリンIT・ラボ

### 【功績名】

マリンIT分野の開拓と情報を活用した持続可能な沿岸漁業の先駆的取り組み

### 【功績の内容】

当団体は、水産業と情報処理技術を融合した新たな研究分野である「マリンIT」分野を開拓し、全国に先駆けてITの導入による持続可能な沿岸漁業（IT漁業）の実践に地域と一体となって取り組んでいる。

平成20年に、ホタテやコンブなどの養殖業、サケなどの定置網漁業に極めて重要な環境要素となる水温情報をリアルタイムで提供する「ユビキタスブイシステム」を事業化し全国に展開することで計画的な操業を可能とし、沿岸漁業を支援している。

また、平成23年には、資源枯渇が危惧されている北海道のマナマコを対象とした「リアルタイム水産資源評価システム」を実用化し、また平成24年には、僚船と位置情報を共有することで効率面と安全面から操業を支援するiPadアプリケーション「marine PLOTTER」をリリースするなど、独創的な発想でIT漁業のパイオニアとして地域と密着した研究活動を行っており、いずれも実用的に供されている点で大きな評価を得ているところである。

研究成果の1つである小型安価な「ユビキタスブイシステム」は、漁業者個人が導入することができ、内浦湾のホタテ養殖では斃死の発生の低減、利尻島のコンブ養殖では寄生虫の発生の低減に成功した。

また、もう1つの研究成果であるiPadを用いた「デジタル操業日誌」を導入した日本初のリアルタイム水産資源評価の取り組みは北海道のマナマコの資源回復に貢献しているなど、当団体の研究成果は北海道の沿岸漁業の振興に寄与している。